

ベীগごま

小林守城

広辞苑によると

巻貝に鉛を入れてかたどった

貝独楽（ばいごま）を

ベীগごま とも言うそうだ

ベীগごまは貝の形か

なるほど金の匂いかねがつきまどった

ベীগごまはかくされた遊びだ

ちんこならばかにされ

ほんこなら金がかかる

ひもじかった子どもらの

小遣い全部をかけた

破滅的な遊びともなった

ふるさとのわたし周辺には

その人たちはもう一人もいない

病気で帰って来て死んでしまったり

螺旋の溝にそって

麻で作った細い紐を

唾をつけつつ巻きつける

きつくしつかり巻きつける

独楽に回転を生む

瞬時の鋭い投げ込みと角度

強い引きよせが勝負だ

シートや合羽でつくった

緩やかな蟻地獄形のとこに

チイツ チイツ チィー

みんな同時に投げ入れて

青白く輝いて唸った金属の独楽

まわり衝突し弾きだされねばやまない

あのベীগごまの修羅とともに

あのところみんな何処へ希望をもって

集団就職していったのか